

# 2023年3月期第3四半期 決算補足説明資料

京浜急行電鉄株式会社（証券コード：9006）

2023年2月13日

<https://www.keikyu.co.jp>

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 2
II. 2023年3月期 第3四半期決算実績	P. 4
III. 2023年3月期 業績予想	P. 18

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 2
II. 2023年3月期 第3四半期決算実績	P. 4
III. 2023年3月期 業績予想	P. 18

## 対前年同期（2021年度3Q）

- 新型コロナウイルス感染症による影響は継続しているものの、回復基調で推移し、**増収増益**

鉄道運輸収入	<b>+13.8%</b>	バス営業収益	<b>+12.6%</b>	ビジネスホテル稼働率	<b>+28.3pt</b>
--------	---------------	--------	---------------	------------	----------------

## 対コロナ前（2018年度3Q）

- 新型コロナウイルス感染症による影響は縮小しているものの、**大幅減収減益**

鉄道運輸収入	<b>△21.3%</b>	バス営業収益	<b>△23.9%</b>	ビジネスホテル稼働率	<b>△21.1pt</b>
--------	---------------	--------	---------------	------------	----------------

## 業績予想に対する進捗

### 3Q実績

- 鉄道運輸収入は、**想定をやや上回って推移**
- バス営業収益は、**概ね想定どおり進捗**
- ビジネスホテルの稼働率は、**想定を上回って推移**

### 4Q予想

- 経常利益を上方修正（50億円→80億円）**

修正理由：政策保有株式の売却が進み、投資有価証券売却益が増加したため

- 営業利益・当期純利益は据え置き**

理由（営業利益）：

3Q実績（94億円）は年初予想（80億円）を上回って推移するものの、交通事業における修繕工事費の計上、動力費の増加を織り込んだほか、来期人件費の一部について、今期計上への変更を計画することにより据え置き

理由（当期純利益）：

経常利益の修正はあるものの、流動化予定物件の売却を来期以降に変更したことなどにより、据え置き

I. エグゼクティブ・サマリー P. 2

II. 2023年3月期 第3四半期決算実績 P. 4

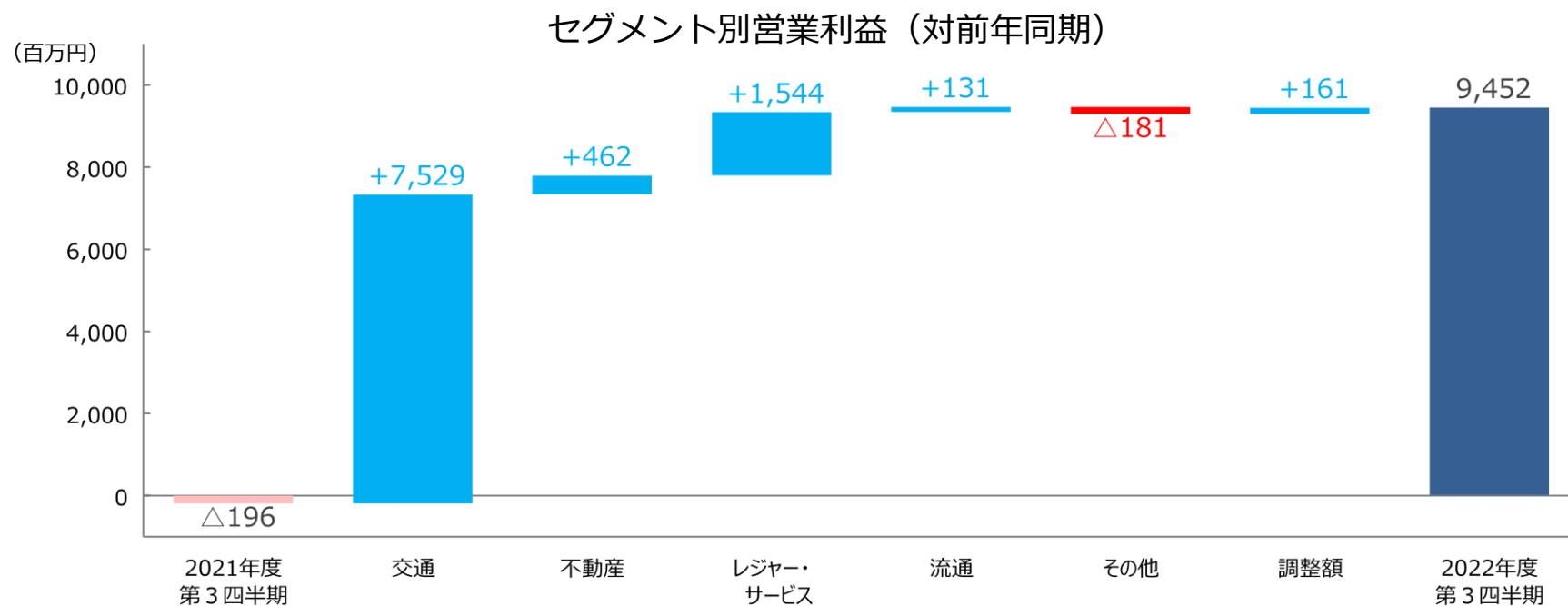
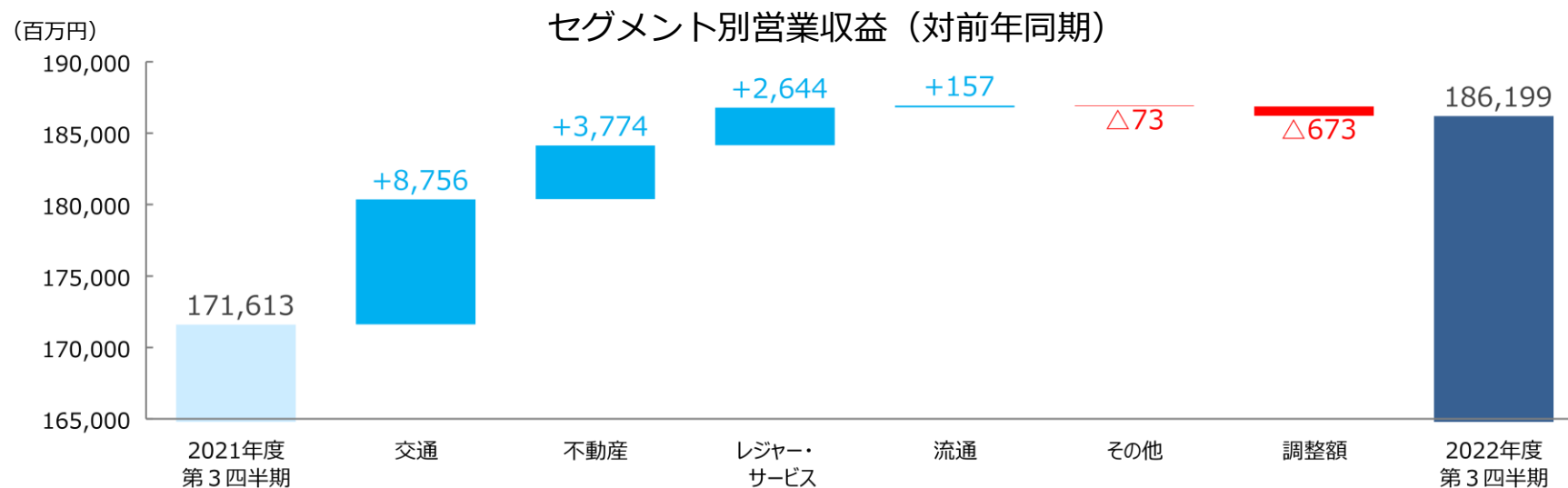
III. 2023年3月期 業績予想 P. 18

(単位：百万円)	2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減額	増減率
営業収益	186,199	171,613	+14,585	+8.5%
営業利益	9,452	△ 196	+9,649	－%
経常利益	9,754	460	+9,293	－%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15,677	9,375	+6,301	+67.2%
1株当たり 四半期純利益	56.95円	34.06円	+22.89円	

# 連結決算実績（セグメント別）

(単位：百万円)		2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減額	増減率
交通事業	営業収益	73,715	64,959	+8,756	+13.5%
	営業利益	1,343	△6,185	+7,529	－%
不動産事業	営業収益	35,882	32,108	+3,774	+11.8%
	営業利益	5,013	4,550	+462	+10.2%
レジャー・ サービス事業	営業収益	20,281	17,637	+2,644	+15.0%
	営業利益	1,571	26	+1,544	－%
流通事業	営業収益	53,230	53,073	+157	+0.3%
	営業利益	934	803	+131	+16.4%
その他	営業収益	25,697	25,770	△73	△ 0.3%
	営業利益	287	468	△181	△ 38.6%

# セグメント別営業収益・営業利益の増減





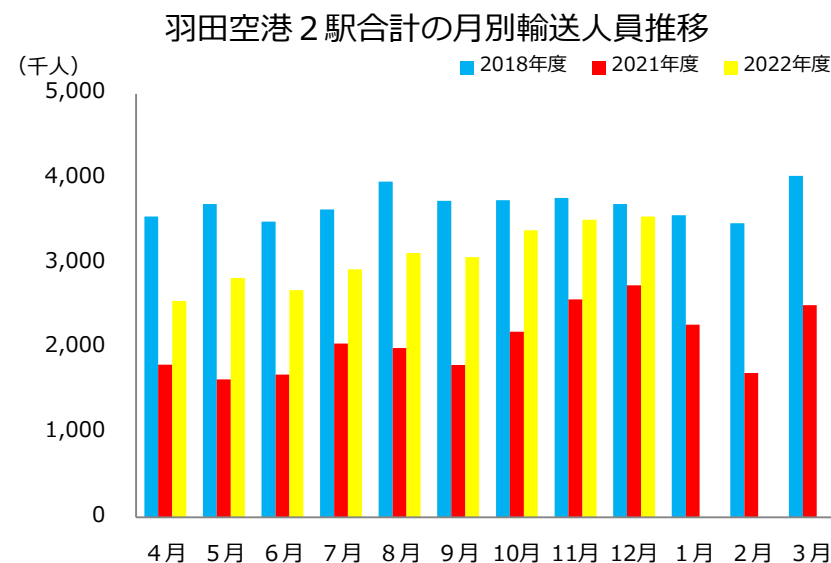
単位：百万円	2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
営業収益	73,715	64,959	+8,756	+13.5%	<b>鉄道事業：</b> 定期外収入の増  <b>バス事業：</b> 空港・中距離路線収入の増
鉄道事業	51,024	44,945	+6,079	+13.5%	
バス事業	19,944	17,706	+2,237	+12.6%	
タクシー事業	2,746	2,307	+438	+19.0%	
営業利益	1,343	△ 6,185	+7,529	-%	
鉄道事業	2,101	△ 2,830	+4,932	-%	
バス事業	△ 747	△ 3,226	+2,479	-%	
タクシー事業	△ 10	△ 129	+118	-%	

## <鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

	輸送人員 (千人)				旅客運輸収入 (百万円)			
	2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減数	増減率	2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減額	増減率
定期	161,252	151,230	+10,022	+6.6%	18,292	17,729	+562	+3.2%
定期外	141,769	120,034	+21,735	+18.1%	30,760	25,365	+5,394	+21.3%
合計	303,021	271,264	+31,757	+11.7%	49,052	43,095	+5,957	+13.8%

## <羽田空港2駅の輸送人員>

	輸送人員 (千人)			
	2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減数	増減率
第1・第2ターミナル (国内線)	23,951	16,199	+7,752	+47.9%
第3ターミナル (国際線)	3,679	2,263	+1,416	+62.6%
合計	27,630	18,462	+9,168	+49.7%



単位：百万円	2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
営業収益	35,882	32,108	+3,774	+11.8%	<b>不動産販売業：</b> マンション分譲：328戸（対前年同期+161戸）  <b>不動産賃貸業：</b> 不動産ファンドからの配当収入が増加したことによる増
不動産販売業	22,470	19,262	+3,207	+16.7%	
不動産賃貸業	13,412	12,846	+566	+4.4%	
営業利益	5,013	4,550	+462	+10.2%	
不動産販売業	1,077	1,114	△ 36	△3.3%	
不動産賃貸業	3,935	3,436	+498	+14.5%	

## <2022年度主な引渡し物件>

(単位：戸)	総戸数	引渡し開始時期
プライム金沢文庫	106	2023年3月予定
プレミスト王子神谷	227	2023年2月予定
プライム川崎小島新田	116	2022年9月
ブランズタワー芝浦	482	2022年1月

単位：百万円	2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
営業収益	20,281	17,637	+2,644	+15.0%	<b>ビジネスホテル業：</b> 宿泊需要回復による増  <b>レジャー関連施設業：</b> 平和島レジャー施設の売上増
ビジネスホテル業	3,813	2,175	+1,637	+75.3%	
レジャー関連施設業	9,063	8,771	+292	+3.3%	
レジャーその他	7,404	6,689	+714	+10.7%	
営業利益	1,571	26	+1,544	-%	
ビジネスホテル業	△ 865	△ 1,749	+883	-%	
レジャー関連施設業	1,590	1,305	+285	+21.8%	
レジャーその他	847	470	+376	+79.9%	

## 京急EXホテル・京急EXイン客室稼働率

	2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減数	2022年 12月末	2022年 3月末
稼働率	73.0%	44.7%	+28.3pt		
客室数（室）				2,236	2,516

単位：百万円	2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
営業収益	53,230	53,073	+157	+0.3%	<b>百貨店業・SC業：</b> 新型コロナウイルス感染症の影響縮小に伴う増 <b>スーパーマーケット業：</b> 内食特需の反動、商品値上げに伴う買上点数減、 一部店舗閉店などによる減
百貨店・SC業	12,732	11,475	+1,257	+11.0%	
百貨店業	9,626	9,353	+273	+2.9%	
SC業	3,106	2,122	+983	+46.4%	
ストア業	40,497	41,597	△1,099	△2.6%	
スーパーマーケット業	31,011	32,093	△1,082	△3.4%	
コンビニ・物販業ほか	9,486	9,503	△17	△0.2%	
営業利益	934	803	+131	+16.4%	
百貨店・SC業	445	△62	+508	-%	
百貨店業	195	△68	+263	-%	
SC業	250	5	+245	-%	
ストア業	489	865	△376	△43.5%	
スーパーマーケット業	18	375	△357	△95.1%	
コンビニ・物販業ほか	470	490	△19	△4.0%	

単位：百万円	2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
営業収益	25,697	25,770	△73	△0.3%	(株)京急ファインテック等の完成工事の減少による減
営業利益	287	468	△181	△38.6%	

(単位：百万円)	2022年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	増減額	主な内訳
営業外収益	3,404	3,904	△499	助成金収入 112 (対前年同期 △785) 投資有価証券売却益 1,668 (対前年同期 +240)
営業外費用	3,102	3,247	△144	
特別利益	14,258	17,155	△2,896	固定資産売却益 13,103 (対前年同期 △3,177) ※
特別損失	1,975	1,226	+748	

※ 2021年度3Q累計：不動産流動化による固定資産3物件（京急第2ビル、京急第7ビル、金沢八景第1京急ビル）売却  
 2022年度3Q累計：京浜急行バス営業所、ビジネスホテル3館売却

# 連結貸借対照表（概要）

(単位：百万円)	2022年12月末	2022年3月末	増減額
流動資産	127,179	128,019	△839
現金及び預金	49,268	61,384	△12,115
分譲土地建物	53,263	46,396	+6,866
固定資産	776,391	784,365	△7,974
有形固定資産	624,165	631,790	△7,624
投資その他の資産	144,630	145,149	△519
投資有価証券	86,968	85,846	+1,122
<b>資産合計</b>	<b>903,570</b>	<b>912,385</b>	<b>△8,814</b>
負債合計	631,876	655,500	△23,623
有利子負債残高※	471,987	489,668	△17,681
純資産合計	271,693	256,884	+14,809
<b>負債純資産合計</b>	<b>903,570</b>	<b>912,385</b>	<b>△8,814</b>
※社債、借入金の合計額			
純有利子負債残高	422,719	428,284	△5,565
自己資本比率	29.8%	27.9%	+1.9pt



# 【参考】2021・2022年度連結決算実績（四半期別）

		2021年度				2022年度		
		1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)	4Q (1月～3月)	1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)
(単位：百万円)								
交通事業	営業収益	20,912	20,731	23,315	21,302	24,231	24,094	25,389
	営業利益	△3,148	△1,986	△1,051	△3,768	△201	1,060	484
不動産事業	営業収益	8,394	7,319	16,394	47,305	10,482	11,635	13,765
	営業利益	1,094	468	2,987	6,386	1,277	1,641	2,094
レジャー・サービス事業	営業収益	5,027	6,294	6,315	6,359	6,697	6,634	6,949
	営業利益	△707	439	294	181	648	268	654
流通事業	営業収益	17,162	17,930	17,980	16,749	17,182	17,423	18,625
	営業利益	262	243	297	△40	267	178	488
その他	営業収益	7,660	9,049	9,060	15,818	7,311	8,888	9,497
	営業利益	△73	268	274	1,209	△168	292	163
営業収益		52,713	53,471	65,428	93,624	59,512	60,883	65,803
営業利益		△2,483	△441	2,728	3,707	1,931	3,548	3,972
経常利益		△2,011	△368	2,840	4,605	1,743	2,891	5,119
親会社株主に帰属する当期純利益		8,643	△1,046	1,777	3,154	8,343	4,186	3,147
鉄道旅客運輸収入	定期	6,029	5,858	5,842	5,768	6,159	6,108	6,023
	定期外	7,861	7,851	9,652	8,485	9,935	9,905	10,919
	合計	13,891	13,710	15,494	14,253	16,095	16,013	16,943

# 【参考】2018年度連結決算実績（コナ前）

(単位：百万円)		1Q	2Q	2Q累計	3Q	3Q累計	4Q	年度累計
		(4月～6月)	(7月～9月)	(4月～9月)	(10月～12月)	(4月～12月)	(1月～3月)	(4月～3月)
交通事業	営業収益	31,212	31,730	62,942	31,323	94,265	30,482	124,748
	営業利益	5,479	6,744	12,223	4,762	16,985	3,834	20,819
不動産事業	営業収益	10,045	7,785	17,831	17,936	35,767	34,160	69,927
	営業利益	1,044	1,095	2,139	2,844	4,983	3,465	8,449
レジャー・サービス事業	営業収益	8,842	9,691	18,533	10,026	28,560	9,448	38,009
	営業利益	1,614	1,904	3,519	1,960	5,479	864	6,343
流通事業	営業収益	26,420	26,530	52,951	28,019	80,970	25,617	106,588
	営業利益	615	576	1,192	836	2,028	332	2,361
その他	営業収益	8,125	11,069	19,195	11,460	30,655	25,207	55,863
	営業利益	△4	593	588	616	1,205	2,816	4,022
営業収益		75,450	75,626	151,077	86,740	237,817	101,450	339,268
営業利益		8,733	10,489	19,222	10,600	29,823	10,324	40,147
経常利益		8,362	9,632	17,994	9,941	27,936	9,838	37,774
親会社株主に帰属する当期純利益		5,588	6,779	12,368	6,953	19,322	1,391	20,714
鉄道旅客 運輸収入	定期	8,108	8,066	16,174	7,847	24,022	7,895	31,917
	定期外	12,595	12,807	25,403	12,894	38,297	12,615	50,913
	合計	20,704	20,873	41,578	20,741	62,320	20,511	82,831

I. エグゼクティブ・サマリー P. 2

II. 2023年3月期 第2四半期決算実績 P. 4

III. 2023年3月期 業績予想 P. 18

新型コロナウイルス感染症の影響による行動自粛・各種制限等は2023年4月に向けて緩やかに収束し、事業環境は平常化に向かうと仮定

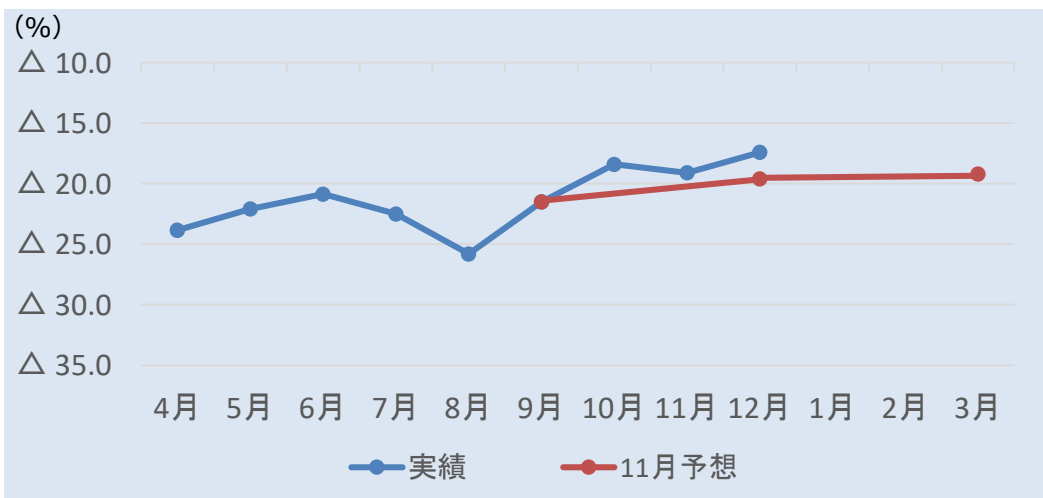
- ※ただし、事業によっては、コロナ影響からの回復が遅れること、社会環境や生活様式の変化により平常化の水準がコロナ以前とは異なることも想定
- ※羽田空港航空旅客数については、国内線は2023年4月、国際線は2024年4月以降に回復

		2022年度
交通事業	鉄道事業	2022年度運輸収入は、対コロナ前 下期：△20%、通期：△22%
	バス事業	営業収益は、対コロナ前 通期：△24%
不動産事業	賃貸業	平常時同様と想定
レジャー・サービス事業	ビジネスホテル業	稼働率 通期：約70%（対コロナ前 約△20pt）
流通事業	百貨店・SC業	需要は徐々に回復
	スーパーマーケット業	商品値上げに伴う買上点数減などにより 平常時より下回る想定
	コンビニ・物販業ほか	鉄道輸送人員回復に伴い、駅ナカ店舗を中心に回復

※2022年11月11日発表の  
業績予想前提から変更なし

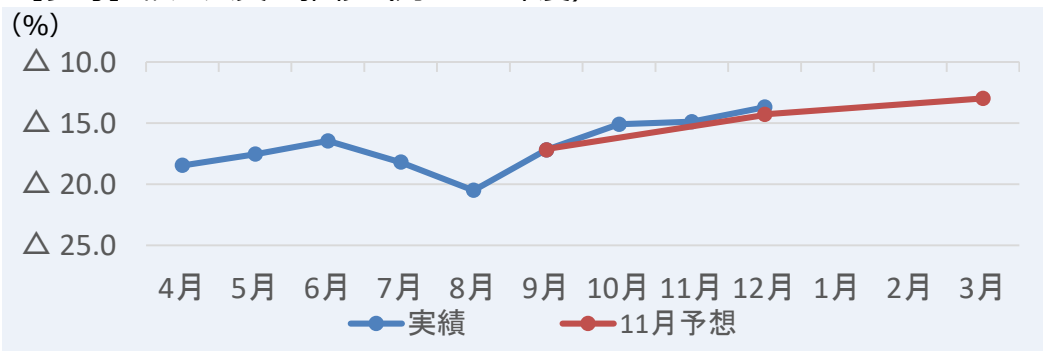
## ◆鉄道事業

＜運輸収入の推移（対2018年度）＞



	2022年度 上期実績	2022年度 下期予想	2022年度 通期予想
定期	△24%	△21%	△23%
定期外	△22%	△20%	△21%
合計	△23%	△20%	△22%

【参考】輸送人員の推移（対2018年度）

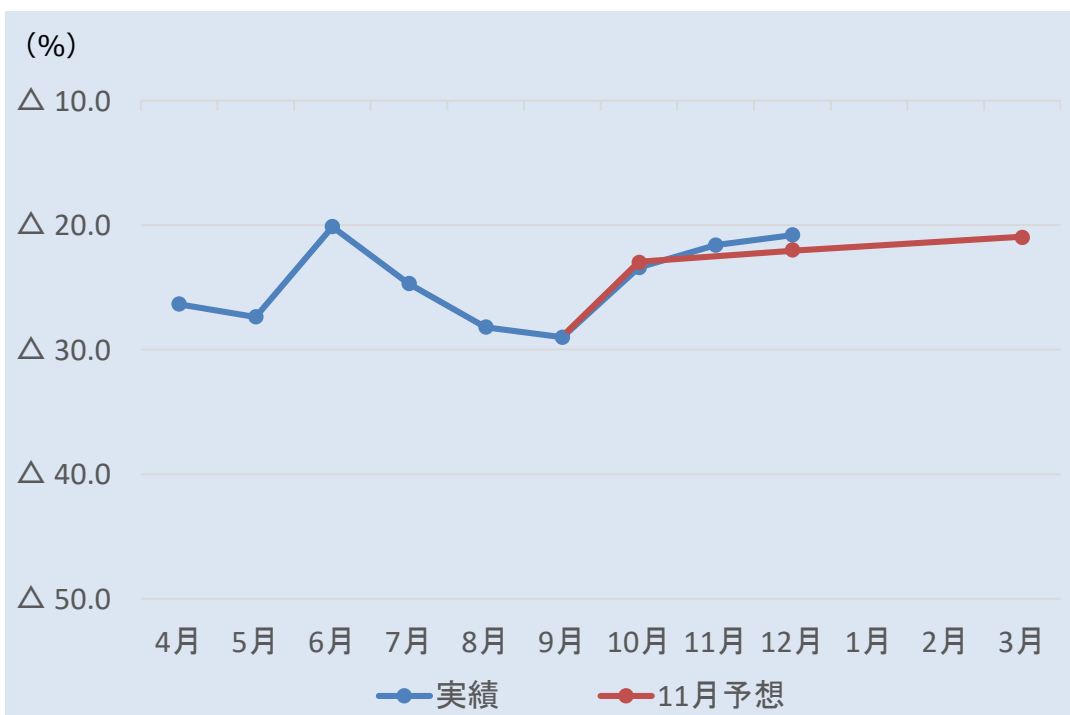


### 【1月速報（利用者数）】

- 自動改札機通過人員ベースでは、対2018年度約△12%減（対前年約12%増）、羽田空港2駅は対2018年度約△5%減（対前年約54%増）で推移
- よって、対予想では輸送人員は概ね想定どおりとなる見込

## ◆バス事業

＜営業収益の推移（対2018年度）＞



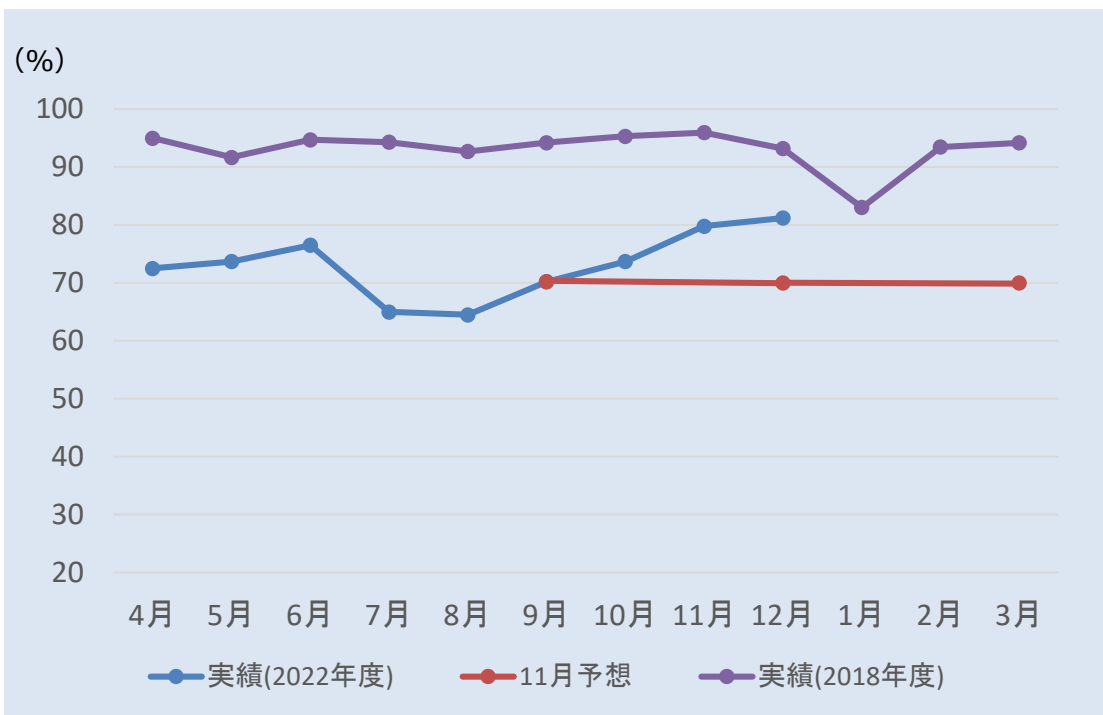
	2022年度 上期実績	2022年度 下期予想	2022年度 通期予想
営業収益	△26%	△22%	△24%

### 【1月速報（営業収益）】

- 営業収益は対2018年度約△23%減（対前年約17%増）で推移
- 対予想では概ね想定どおりのペース

## ◆ビジネスホテル業

＜稼働率の推移＞



	2022年度 上期実績	2022年度 下期予想	2022年度 通期予想
稼働率	70%	約70%	約70%

### 【1月速報（稼働率）】

- 稼働率は約70%で推移
- 対予想では概ね想定どおりのペース

# 連結損益計算書（業績予想）

(単位：億円)	2022年度	2021年度	増減額
営業収益	2,570	2,652	△82
営業利益	80	35	+44
経常利益	<b>80</b>	50	<b>+30</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	150	125	+24

- ・経常利益  
政策保有株式の売却などにより  
**50→80 億円に上方修正**
- ・当期純利益  
流動化予定物件の売却を来期以降  
に変更したことなどにより据え置き

(単位：億円)	2022年度	2021年度	増減額
設備投資額 ※ (うち、不動産流動化SPC出資)	1,085 (157)	700 (178)	+384 (△20)
減価償却費	284	295	△11
1株当たり 当期純利益	54.49円	45.52円	+8.97円

※2022年11月11日発表の  
業績予想から変更なし

※ 工事負担金等（11月予想138億円、2021年度36億円）を含む



(単位：億円)		2022年度	2021年度	増減額
交通事業	営業収益	977	862	+114
	営業利益	△8	△99	+91
不動産事業	営業収益	543	794	△251
	営業利益	60	109	△49
レジャー・サービス事業	営業収益	258	239	+18
	営業利益	8	2	+5
流通事業	営業収益	692	698	△6
	営業利益	6	7	△1
その他	営業収益	445	415	+29
	営業利益	14	16	△2

※2022年11月11日  
発表の業績予想から  
変更なし

**【ご注意】**

この資料に記載の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、発表時点において想定した各種前提条件を基に作成しております。こうした記載情報は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含むものです。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**【お問い合わせ先】**

経営戦略室 IR担当

Tel 045-225-9392

E-mail [ir-keikyu\\_t7z@keikyu-group.jp](mailto:ir-keikyu_t7z@keikyu-group.jp)